



滋臨衛技

第217号

だより

□発行所
滋臨衛技師会
□事務局
大津赤十字病院検査部
大津市長等1 1 35
□発行責任者
立 脇 憲 一



第45回近畿医学検査学会 会場 ピアザ淡海

目 次

○第45回近畿医学検査学会を振り返って.....	2
○毛利衛氏による特別講演.....	3
○石田雅男氏による公開講座.....	4
○学会写真館.....	5
○9月定例理事会議事録.....	7
○10月定例理事会議事録.....	8
○お知らせ.....	10

<http://www.biwa.ne.jp/samt/>

第45回近畿医学検査学会を振り返って

実行委員長 瀬田 正憲

第45回近畿医学検査学会を平成17年10月15日(土)・16日(日)の両日に亘って大津のピアザ淡海にて開催し、1,300有余名の参加者を得て、無事盛会のうちに終了したことに心より感謝し、喜ぶ次第です。

さて、今学会は、何事につけても初めての開催づくしでした。14日のチーム医療研修会については、森嶋大阪府会長が近畿理事会席上で、「医療もチームで連携している。検査技師が医療現場で携わる実践的な研修会を開催しよう。」と提唱され、かくあるチーム医療のなかから、とりあえず、今年は「糖尿病、感染制御、栄養サポート」に絞って実施することとなり、委員会で調整した結果、参加者にとって利便性が良いと思われる学会時に開催することになった。参加案内も、近畿県内に限らず、全国からの参加者を想定してJAMTESおよび滋賀県技師会のHP上で募集した結果、熊本県から2人、神奈川県から1人を含め総数110名の研修会となり、当初の予想より下回ったものの、参加者の満足度も高く盛会裡に終わったことは、今後、引き続き研修会を開催する弾みとなった。今回の反省点(開始時間、時間的な制約など)を踏まえて、次の企画に期待したい。

しかし、今学会のハイライトは、なんといっても臨床検査医学会近畿支部との同時開催したことだと思ふ。京都府立医科大学藤田先生が学会長を務められる第48回臨床検査医学会近畿支部総会を、滋賀県が担当する近畿医学検査学会と同時開催して欲しいと要請を受けたのは昨年の暮れ近くではなかったかと思ふ。検査医会と同時開催?大丈夫?など多くの不安感と相当の恐れを感じ、出来れば止めたいと思ったものの「大丈夫、ご苦労さん。滋賀県なら出来る!」と近畿理事の方から軽い励ましを受けたことを思い出す。

学会運営で一番心配した受付部門が、担当者の尽力のおかげでスムーズに運営されたことで、非常に安堵したが、細部では問題点も色々と浮かび上がった。それらを一つ々クリアして、黙々と学会を運営した各責任者・実行委員の方々にただただ感謝するばかりです。しかし、協議の過程で、学会日程が日



右:立脇学会長 左:瀬田実行委員長

替わりで変更することなどもあり、同時開催を継続的に実施するならば、今後の課題として考慮すべきものと思われた。

特別講演には元宇宙飛行士、毛利衛氏をお招きし「宇宙と生命」についての講演をしていただいた。多くの会員に、無限に拡大するグローバルな宇宙の視野から、果ては医療のなかでの臨床検査技師との関わりまで捉えていただき、実に宇宙の、そして生命の神秘さを体験を交えて話される話術に会員は魅了されたことと思う。公開講座では県と健康づくり財団の補助を受け「ハンセン氏病とわたし」をテーマに、長島愛生園元自治会長 石田雅男氏にご講演していただいた。今年の4月の検証会議から去る10月下旬の天皇陛下のご訪問など、話題性のある時期を得た講演だったと思う。怠慢と無知が、ここまで人権を蹂躪できるかという恐ろしさを痛感した。感銘を受けたことは、氏の言葉のなかでの「今、生きていること。そして小さなことでも喜びを見いだす幸せに感謝している。」と。幾多の困難な環境に耐え、忍び抜いて生きてこられた言葉の重みに、ややもすれば何もせず、現状に不満をもつ私たちへの警句として心に留めておきたい。

最後に、学会開催に当たって後援をいただいた、県、医師会、大津市、健康づくり財団、及び関係団体にお礼申し上げるとともに、学会を成功裏に導いた実行委員、実務委員に感謝いたします。また、特別講演・公開講座の開催に当たって、極めてご尽力いただいた健康づくり財団の桐畑邦広氏、財団職員の方々に厚くお礼を申し上げます。

【特別講演】

「宇宙と生命」 ~ 無重力空間の可能性 ~

宇宙飛行士 毛利 衛氏



宇宙へ行くためにはロケット燃料という巨大なエネルギーが一度に爆発しないように、さらに軌道を間違えないようにコントロール

する。宇宙では最低限人間が生きて仕事ができるように宇宙船の中で地球環境を模擬した生命維持装置が必要だ。普段の生活では当たり前の環境、空気、水、重力、食べ物、睡眠、等々を改めて生命にとって何が本質なのかを考えさせてくれる。たくさんコントロールするパラメータがあるが所詮人間の造った装置、本物の地球環境の仕組みにはかなわない。しかしどの装置が故障しても、3重のバックアップシステムにより致命傷をさけるよう実によく工夫されて安全が確保されている。

宇宙飛行士の役割は宇宙で科学実験をしたり宇宙ステーションを組み立てたりすることだが、実際の訓練はほとんどがロケットや宇宙船の具合が悪くなったときにどのように素早く回復するかに費やされる。宇宙飛行士は宇宙船の健康を守る医者であり、失敗すれば自ら死にいたる患者でもある。不具合が起きたとき、まず事実確認し的確な情報を地上に伝える。地上の技術者とともに診断をし、素早く修理(治療)を施さなければならない。

宇宙プロジェクトにおける危機管理には二つのアプローチが必要である。ひとつは危機が起きないようにあらかじめすべてのシステムの信頼性を高めておくこと。もうひとつは不具合が起きても致命的にならないように被害を最低限に食い

止め、回復させるシナリオをもつこと。私はNASAで主として後者の危機管理を徹底的に訓練された。これは医師が病気にかかった患者さんの対処の仕方と相通ずる部分が多いのではない

かと思う。訓練で得た重要な教訓は、現場責任者および事象の白黒をはっきりさせる。灰色の部分も何が白黒ではないかということ、関係者全員に透明にすること。あらかじめ起きるかもしれない考え得るすべての不具合を徹底的に網羅して訓練すること。解決すべき優先順位をあらかじめはっきりさせておき、上位にあるものを救うため手遅れにならないうちに即決して修復操作に入ることである。

ガガーリンの「地球は青かった」の本当の意味が宇宙に飛行して初めてわかった。宇宙はどんな生命も生存できない真っ暗闇の死の世界である。宇宙船はそんな空間で生命を最低限生かすために必要な生命維持装置を持つ。人工の地球環境をかるうじて有する狭い空間の小さい窓からすべての生命が息づく大きな丸い球体を見たとき、なぜ、宇宙に行くことが多くの人々にとって夢であり、人類にとって価値ある大きな挑戦なのか疑問の一部が解けた気がした。

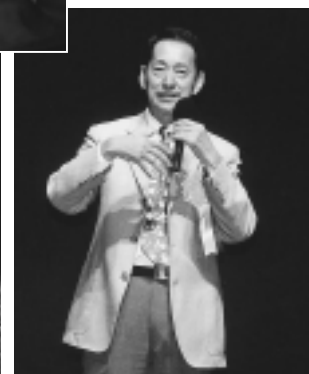
(学会抄録より)



司会 立脇会長



◀エンデバー号の模型



【公開講座】

「ハンセン病とわたし」 ～人間として生きる～

元国立療養所長島愛生園自治会長 石田 雅男氏



人におよぶ多くの支援者、協力者に恵まれ、それは今日に至っても私たちにとって有難い良き理解者となって頂いております。社会全体からみますと、ハンセン病(らい)のこと、患者がどのように扱われてきたか、今では過ぎ去った「過去」であってもハンセン病を通して、人権問題でもあるこのような過ちを二度と繰り返してはならない、と意識される人々は残念なことにごく一部のように思われます。

ハンセン病(らい)という病気そのものからの痛みと苦しみはその病気に罹った私自身が最もよく認知しております。そして今まで一般の人々がハンセン病を大変恐れたものは不治、伝染、病状の醜さ等によるものであったと思います。しかし、私たちが病気以上に悲しみ、生きてゆくことに絶望的にさせられてしまったのは、病気に罹ったことで社会から排除され、そして人間ではなく汚い物のように扱われたことでもあります。

まことに微力でおこがましい限りですが、ハンセン病を患った当事者、非人道的に扱われた者としてその体験を語らせて頂く中で、少しでもハンセン病についての認識、ハンセン病は治っても特有の後遺症についての理解、さらには人権意識の高揚につながればと心に念じながら話をさせて頂いております。そして、拙ない話であっても多くの方々に関心をもって聴講して下さいことに心から感謝を覚える昨今でございます。(学会抄録より)

「らい予防法」という法律は、私たちにとって別名“隔離法”とも言っていましたが、その「らい予防法」は平成8年に廃止されました。

そして、岡山県の東部に位置します“長島”という島には国立ハンセン病療養所「長島愛生園」「邑久光明園」があり、その長島に昭和63年5月に隔離を必要としない証の橋「邑久長島大橋」が架けられました。私たち入所者が17年間に亘って要望した“人間回復の橋”であります。しかし、この橋が架かっても“隔離法”と言われた「らい予防法」が廃止になっても「社会」という一般世間の人々はハンセン病(らい)のこと、患者が忌み嫌われ、非人道的な隔離の施設(療養所)に強制収容されてきたことなどについても全く無関心に近いものでした。

しかし、平成10年「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟が起きて以来、平成13年の訴訟判決まで数千



司会 瀬田副会長



出陣式の挨拶



受付



ドリンクコーナー



書籍コーナー

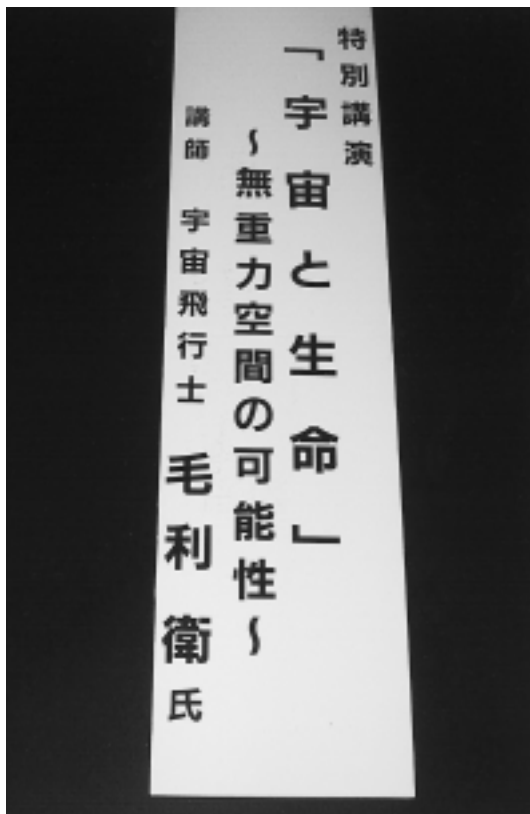


クローク



日臨技 小崎会長挨拶





シンポジウム



シンポジウム



熱心に聴講する参加者の皆様



熱気あふれる会場



裏方さんご苦労様

平成17年9月定例理事会議事録

日 時：平成17年9月1日(木) 16:00~18:00
 場 所：成人病センター 職員会館 2階会議室
 出席者：立脇、瀬田、岸本、栞藤、松瀬、竹島、岡本、夏原、馬場、宮下、小椋、内木、藤田、元廣

司 会：栞藤

1. 会長報告

近臨技関係：9月3日(土) 地区連絡協議会開催予定

開催場所：大臨技事務局

2. 報告事項

1) 施設代表者会議(終了後、懇親会)

日 時：8月5日(金) 18:00~19:30

場 所：ライズヴィル 都賀山

議題1 第45回近畿医学検査学会の日本臨床検査医学会近畿支部総会との同時開催の経緯

議題2 第45回近畿医学検査学会準備進捗状況

議題3 第45回近畿医学検査学会協力へのお願い

議題4 .その他

参加人数：28名

2) 第14回学会実行委員会

日 時：8月10日(水) 19:00~20:30

場 所：成人病センター 職員会館

3) 第45回近畿医学検査学会の部門代表者会議

日 時：8月24日(水) 18:30~20:30

場 所：滋賀医大病院検査部

4) 滋賀県公衆衛生学会実行委員会

日 時：8月25日(木) 5:00~17:00

場 所：大津保健所 2階会議室

議 題：1 滋賀県公衆衛生学会開催日、平成18年2月16日(木)

2. 学会奨励賞に石川和彦会員が推薦。

3. 協議事項

1) 第45回近畿医学検査学会について

実務委員の委嘱、受付の袋と案内書、参加証と領収書、クロークの札、書籍販売等について協議。

2) 「チーム医療実践セミナー」について
 滋臨技会員への参加要請。

3) 「都道府県精度管理責任者全国会議」の開催通知について

開催日時：10月30日(日) 12:00~15:00

開催場所：日臨技会館 第一会議室

出席者について、滋賀医科大学付属病院 大槻隆明氏を選任。

4. 各部の連絡

事業部：精度管理試料を9月6日に配布予定。

生涯部：生涯教育セミナーを10月下旬で予定。

渉外部：9月13日(火)に近畿学会の会場系の会議を開催予定。

厚生部：11月6日(日)にハイキングを計画予定。

広報部：滋臨衛技だより第216号を9月10日に発送予定。

組織部：①会員動向別掲

次回理事会予定

開催日時：10月6日(木) 17時から

開催場所：増田医科器械

司 会：吉田



会員動向

1. 会員の動向 (平成17年8月29日現在)

総会員数 513名 (日臨技511名、県内2名)
新再入会員 22名

2. 転出

会員番号	氏名	施設名	転出先
139211	小霜美恵	滋賀医大付属病院治験管理センター	(株)日本臨床薬理研究所(東京都)

3. 訂正とお詫び

会員名簿で下記内容に誤りがありました。訂正させていただくと共に、お詫び申し上げます。

4頁 ②免疫検査分野 分野委員

誤 正

平尾昇 → 谷口昇

25頁 9250084 株式会社 環境バイリス研究所 住所

誤 正

甲賀水口町宇川555 → 甲賀市水口町宇川555

平成17年10月定例理事会議事録

日時：平成17年10月6日(木) 16:00~18:00

場所：ピアザ淡海 204会議室

出席者：立脇、瀬田、岸本、吉田、拝藤、松瀬、竹島、植田、岡本、夏原、馬場、宮下、小梶、内木、重田、藤田、元廣

司会：松瀬

1. 会長報告

- ①第45回近畿医学検査学会への協力依頼。
- ②アフリカからの臨床検査技術研修受け入れ可能施設の調査依頼。

2. 報告事項

- 1) 学会会場部局会議
日時：9月13日(金) 18:00~19:30
場所：ピアザ淡海
- 2) 第15回学会実行委員会 (第45回近畿医学検査学会)
日時：9月22日(木) 18:00~20:00
場所：成人病センター 職員会館

3. 協議・報告事項

- 1) 第45回近畿医学検査学会について
受付、会場、組織、運営、関連行事等につい

てのマニュアル原案について協議。

- 2) 「チーム医療実践セミナー」について
糖尿病療養指導、感染対策、栄養サポートチームの3分野について開催予定。
- 3) 平成17年度第2回保健医療従事者研修会について

日時：11月22日(火) 13:00~16:00

場所：栗東文化芸術会館さくら 小ホール

- 4) 「ガン保険の団体加入」について
- 5) 厚生部「秋のハイキング」について

日時：11月6日(日)

集合場所：JR山科駅前 9:00集合

目的地：嵐山方面

- 6) 日臨技の理事・監事の推薦依頼について
- 7) 各種表彰 (日臨技功労表彰・永年職務精励者表彰・金井泉賞・会長賞等) について
- 8) 第9回地域保健全国大会 (開催日時：平成17年11月10日(木)・開催場所：三重県営サンアリーナ) において、平成17年度(財)日本公衆衛生協会会長表彰を小林忠男氏 (済生会滋賀県病院) 受賞決定。

9) 平成17年度秋の叙勲 元廣昌之氏(能登川病院)受賞決定。

10) 医療マネジメント学会第3回京滋地方会開催について

会 期：平成18年2月4日(土) 9:30~17:00

会 場：ピアザ淡海 県民交流センター

演題募集：11月30日〆切り

事務局：大津赤十字病院医療情報課

11) 第36回滋賀県公衆衛生学会開催について

日 時：平成18年2月16日(木) 13:00~16:50

場 所：ピアザ淡海 県民交流センター

演題募集：平成17年12月2日(金)まで

申し込み先：(財)健康づくり財団

12) 日本プライマリーケア学会第19回近畿地方会の開催について

会 期：平成17年11月2日(水) 9:30~16:00

会 場：びわこホール・ピアザ淡海

4. 各部からの連絡

生涯部：平成14年・15年・16年度生涯教育終了者は19名で、修了書を配布。

厚生部：11月6日ハイキングへの参加要請。

組織部：会員動向別掲

会計部：平成17年度の会費未納者14名であり、8名に督促状を送付。

近畿臨床検査技師会会費を511名納入完了。

次回理事会予定

開催日時：11月10日(木) 17時から

開催場所：K S K

司 会：吉田

会 員 動 向

1. 会員の動向(平成17年10月1日現在)

総会員数 516名(日臨技514名、県内2名)

新再入会員 25名

2. 新入会員

会員番号	氏 名	施設名
254519	宇 野 美 保	市立長浜病院
254520	福 本 知代子	公立甲賀病院
254521	小 倉 美 香	公立甲賀病院



第18回近畿臨床衛生検査技師会血清検査研修会のご案内

- 〔テーマ〕 臓器と語る
- 〔日時〕 平成18年2月25日(土) 13:00～26日(日) 12:00
- 〔場所〕 国民年金健康保養センター 大和路
〒633 0045 奈良県桜井市山田299 1
TEL 0744 43 8606
- 〔募集人員〕 80名
- 〔受講料〕 2日参加 8,000円
1日参加 4,000円
宿泊費(一泊2食付き) 10,000円
夕食会のみ参加費 5,000円
- 〔申込方法〕 申込書の必要事項を記入の上、郵便振込兼領収書を添え、
FAX又は郵送して下さい。
郵便口座番号 00910 3 279174
口座名義 山口 英世
- 〔申込先〕 〒635 0094 大和高田市磯野北町1番1号
大和高田市立病院 臨床技術科 山口 英世 宛
TEL 0745 53 2901 (内線5285) FAX 0745 53 2908
- 〔申込締切〕 平成18年1月20日(金)
- 〔担当者〕 奈良県臨床衛生検査技師会
感染免疫検査部門長 山口 正悟
- 〔責任者〕 〒910 0853 福井市城東4丁目14番30号
福井市医師会臨床検査センター 岩佐 玲子
TEL 0776 22 8467 FAX 0776 24 6099
- 〔主催〕 近畿臨床衛生検査技師会
- 〔生涯教育〕 臨床専門 C-20 (生涯教育カードをご持参下さい)
- 〔申込先〕 〒635 0094 大和高田市磯野北町1番1号
大和高田市立病院 臨床技術科 山口 英世 宛
TEL 0745 53 2901 (内線5285) FAX 0745 53 2908

第16回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会のご案内

主催：近畿臨床検査技師会

担当：奈良県臨床衛生検査技師会 形態検査部門血液検査分野

【日 時】

平成18年2月25日(土) 12時45分より平成18年2月26日(日) 12時45分まで

【プログラム】

2月25日(土)

12:00～12:40 受 付

12:45～13:00 開会式

13:00～14:00 悪性リンパ腫 病態と病理 天理よろづ相談所医学研究所 弓場 吉哲 先生

14:10～15:10 悪性リンパ腫の診断におけるFISH法の応用と実際

天理よろづ相談所医学研究所 奥村 敦子 先生

15:30～16:30 悪性リンパ腫の臨床 検査技師の役割

近畿大学医学部奈良病院 血液内科 八木 秀男 先生

16:40～17:40 悪性リンパ腫のフローサイトメトリ解析

天理よろづ相談所医学研究所 林田 雅彦 先生

18:00～ 情報交換会

2月26日(日)

9:00～12:30 動画による検鏡実習(検査の進め方・所見の書き方)

認定試験を意識した形式での学習を行います。

12:30～12:45 閉会式

【会 場】

奈良県文化会館 小ホール 奈良市登大路町6 2 TEL 0742 23 8921

【情報交換会】

会場：奈良県文化会館 1F レストラン 2月25日(土) 18:00～

【対象者】

近畿臨床衛生検査技師会会員

【受講料・定員】

7,500円 2月25日・26日(参加・テキスト代): 150名

4,000円 25日のみ(参加・テキスト代): 150名

【開催責任者】

近畿臨床検査技師会形態検査部門 部門長

りんくう総合医療センター市立泉佐野病院 中央検査部 根来 利次

【締切日】

平成17年12月9日(金) 消印有効

【申込先】

〒631 0846 奈良県奈良市平松1 30 1 TEL 0742 46 6001 内線 2355

奈良県立奈良病院 中央臨床検査部 梅本 弥生 宛

選挙公示

平成18・19年度の会長の役員立候補は、下記のとおりであり、会長選挙を実施します。

記

小崎 繁昭 (社)埼玉県臨床衛生検査技師会
自宅

村瀬 光春 (社)愛媛県臨床衛生検査技師会
愛媛大学医学部付属病院
愛媛県東温市志津川

投票日：平成17年12月1日(木)

投票受付期間：平成17年12月1日(木)～同年12月14日(水)

投票用紙の送り先：社団法人 日本臨床衛生検査技師会 選挙管理委員会宛

***この期間に「日臨技 選挙管理委員会」に到着した投票用紙のみが有効となりますので、この旨を選挙管理人へ周知していただきますようお願いいたします。**

事務局より

*学会抄録集がお手元に届いていない方がおられましたら、事務局(大津赤十字病院 竹島)までご連絡下さい。
TEL 077 522 4131(内2265) FAX 077 525 9477

*最近盗難が増えています。会員の中でも盗難に遭った方がおられますので、充分注意して下さい。
特に、会員の個人情報等をお持ちの方は、細心のご注意をお願いします。

滋賀県臨床衛生検査技師会史の訂正とお詫び

法人設立20周年・創立50周年記念で発行しました記念史に誤りがありました。訂正させていただきますとともにお詫び申し上げます。

- ① P10 4.研究班長 平成11年度輸血班
誤り 丸井富美子 → 訂正 湯本 浩史
- ② P69 平成13年度滋賀県医療従事者海外研修に参加して
誤り 中央検査室 山本 昌弘 → 訂正 公立甲賀病院 中央検査室 山本 昌弘

何か他にお気づきの点がございましたら事務局までご連絡下さい。

糖尿病検査のトータルサポート 5分で測るHbA_{1c}



糖尿病検査項目の測定が、さらに便利になりました。

DM-JACK Upgradeは、HbA_{1c}、グルコース、1,5AG、GA (%) [グリコアルブミン、アルブミン]などの糖尿病検査項目を迅速かつ高精度に測定する分析装置です。DM-JACK IIの機能に、カラー液晶表示と簡単スタート機能を搭載し、使いやすさを追求しました。また、HbA_{1c}の5分測定とGLU2.5分測定に対応するなど、先進の機能と簡便な操作性で糖尿病検査をサポートします。

特徴

- カラー液晶表示と簡単スタート機能を搭載
- テーブル (30検体) を同時架設
- 1本の採血管から最大同時3項目の測定が可能
HbA_{1c} (%) 測定時は、最大同時2項目測定
- 希釈用カップ不要 (自動溶血確認機能有) の自動希釈機能
- 最大180テスト / 時間の処理能力
- 自動再検機能

糖尿病検査項目自動分析装置

DM-JACK
Diabetes Mellitus Test Analyzer

Upgrade



協和メデックス株式会社

本社
〒134-0804 東京都中央区晴海1-4-10
TEL: 03-4219-7802 FAX: 03-4219-7804 (営業部)
富士工場検査部
〒411-0932 静岡県裾野市高岡一色080-1
TEL: 055-988-9468 FAX: 055-988-4373

Sysmex

【体外診断用医薬品】
ポクテムインフルエンザA/B
承認番号：21400AMZ00638000

A型インフルエンザウイルス抗原及びB型インフルエンザウイルス抗原検出試薬

ポクテムインフルエンザA/B

[有効期間：12ヵ月]



より使い易くなりました!

反応時間が短くなりました。

20分→15分

最小検出感度が向上しました。

判定ラインの出現も早くなりました

操作方法は簡便です。

抽出チューブが柔らかくなりました

3通りの検体採取法。

鼻腔吸引液・鼻腔拭い液・咽頭拭い液

ポクテム インフルエンザA/B 10テスト

- ① アッセイストリップ……………10個
- ② 検体抽出試薬……………0.8mL×10本
(付属品)
- ③ 試料ろ過フィルター……………10個
- ④ 添付綿棒……………10本



標準操作法

- ① 検体抽出試薬に検体を採取した綿棒を浸し、よく攪拌します。このとき、綿棒全体が検体抽出試薬に浸るようになります。
- ② 容器の外から綿棒をつまんだ後、数回しごいて検体をよく絞り出したものを検体試料とします。
- ③ 容器に試料ろ過フィルターをしっかりと装着します。
- ④ アッセイストリップを、平らな場所に置き、抽出試料5滴を試料添加部に滴下します。
- ⑤ 抽出試料を滴下後、試料が展開して判定線が青く見えます。
- ⑥ 抽出試料を滴下してから15分後に、明るいところでアッセイストリップの判定部を斜視により判定します。

*本製品はインフルエンザ診断補助の目的の迅速検査キットです。確定診断は臨床検査科や地域の検査機関を考慮して行ってください。

シスメックス株式会社



本社 神戸市中央区船場海岸通1丁目5番1号 〒651-0073 TEL(078)285-0500(代)
URL=http://www.sysmex.co.jp
営業推進本部 神戸 (078)992-6124



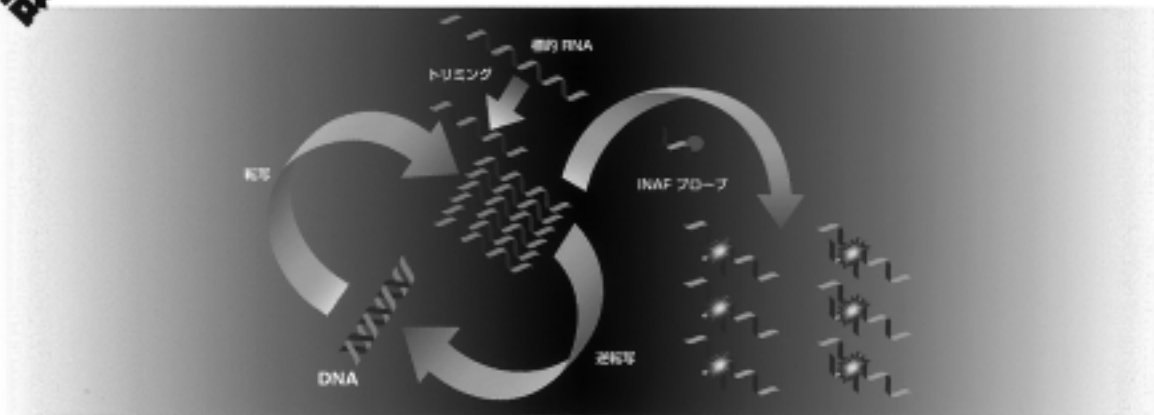
支店 仙台・北関東・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
営業所 札幌・盛岡・長野・新潟・千葉・横浜・静岡・金沢・京都
神戸・高松・岡山・鹿児島



TRC遺伝子検査システム

誕生...リアルタイムRNA検査

東ソーは新しい遺伝子検査法としてTRC法を開発しました。
一定温度(43℃)下で、RNA増幅反応にINAFプローブ*を共存させることにより、測定時間10~30分と迅速・簡便なリアルタイムRNA検査を実現しました。



* INAFプローブ: Intercalation Activating Fluorescence probe

- 迅速**
- 簡便**
- 適用**
- 項目**

抽出サンプルから10~30分で検出可能。

使用する試薬は2種類のみ。

病原微生物や腫瘍マーカーのRNAを専用試薬TRCRtestと専用装置TRCR-160により、迅速かつ簡便に検出します。

■ 腸管感染症・食中毒検査: 腸炎ピブリオ (*tsh* mRNA, *trh* mRNA)
サルモネラ (*invA* mRNA, *sdn* mRNA)
腸管出血性大腸菌 (*stx1* mRNA, *stx2* mRNA)
ノロウイルス 他

■ 呼吸器感染症: 結核菌群*
非結核性抗酸菌* (アビウム・イントラセラー、カンザシー)他

■ 腫瘍マーカー: CEA mRNA
CK20 mRNA* 他 * : 開発中



詳しくは当社営業までお問い合わせください。

TRC遺伝子検査の前処理に!

核酸抽出キット

EXTRAGEN II

EXTRAGEN IIはDNA/RNAを簡単に効率よく抽出するキットです。



東ソー株式会社
科学計測事業部

東京本社 ☎(03) 5427-5181 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
大阪支店 ☎(06) 6344-3857 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-2-6
名古屋支店 ☎(052) 211-5730 〒460-0003 名古屋市中区錦1-17-13
福岡支店 ☎(092) 781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
仙台支店 ☎(022) 266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
<http://www.tosoh.co.jp/>



編 集 雑 感

そろそろストーブの恋しい季節となりました。

今年度の一大事業でありました第45回近畿医学検査学会も成功裡に終了させていただくことができました。昨年6月より、学会の企画、会場の設営、準備等にご尽力いただきました実行委員の皆様はじめ会員の皆様、賛助会員の皆様、本当にお疲れ様でした。心より厚くお礼申し上げます。

学会前日には、今回の学会テーマである「研こうスキル（技術）・広げようフィールド（職域）」に相応しい「チーム医療」について研修会が開催されました。

これからは、日々の検査技術・知識の向上はもちろんのこと、職域を越えた、他の医療技術者と融合した新しい業務に取り組まなければなりません。

来年は保険点数改定の年です。大幅な医療費の削減が画策されており、種々の保険点数のマイナス改定が予想されております。

今こそ、「研こうスキル（技術）・広げようフィールド（職域）」が要求されるのではないのでしょうか。

より充実した会報を発行するため、会員の皆様からのご意見やご感想等、どしどしお送り下さい。お待ちしております。

岡本 記

会誌・会報恵送御礼

静岡県 奈良県 千葉県 群馬県
京都府 大阪府 東京都 北海道
栃木県 愛知県 神奈川県 三重県
千葉県 宮城県 島根県 新潟県
和歌山県 茨城県
滋賀県放射線技師会
滋賀県理学療法士会

第217号滋臨衛技だより

2005年 11月15日発行
発行所 滋賀県臨床衛生検査技師会
編集者 岡本 暢之
重田美千代
印刷所 宮川印刷株式会社